

浜松市立内山真龍資料館 令和5年度常設展Ⅲ

天竜の文化財

～内山真龍の書物・書画～

令和5年12月15日(金)から

令和6年3月3日(日)まで

江戸時代、遠江国豊田郡大谷村（浜松市天竜区大谷）に生まれた内山真龍（うちやま またつ／元文五（1740）年～文政四（1814）年）は、賀茂真淵（かものまぶち）に入門し、国学の研究につとめた人物です。

真龍は、多くの書物を著わす一方、書画にも秀でていました。遠江国13郡下の郷名、村、山河、地図、古跡、石高などが記された『遠江国風土記伝』の自筆本や「自画像」などは静岡県や浜松市の指定文化財になっています。

今回の常設展では、これらの書物や書画を中心に展示し、真龍の足跡をたどります。



「自画像」

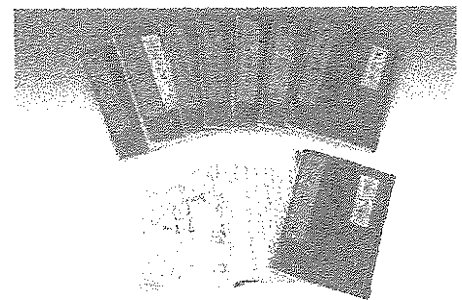
◆ 主な展示資料【予定】

- ◇ 遠江国風土記伝 〈県指定文化財〉
- ◇ 真龍の日記(京畿の旅日記ほか)〈県指定文化財〉
- ◇ 紙本著色内山真龍自画像〈市指定文化財〉
- ◇ 紙本著色山水図(襖面図)
春景図、夏景図、秋景図、冬景図※
〈市指定文化財〉

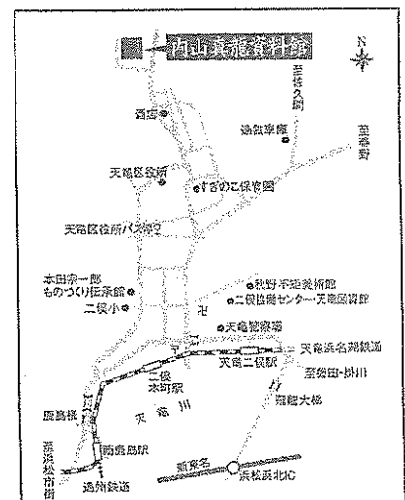
※期間中、展示替え有

12/15(日)～1/21(日) 秋景図、冬景図

1/24(水)～3/3(日) 春景図、夏景図



『遠江国風土記伝』



浜松市立内山真龍資料館

開館時間： 午前9時から午後5時まで

休館日： 月・火曜日、祝日(2/23)
年末年始(12/29～1/3)

住所： 浜松市天竜区大谷 568 番地
電話： 053-925-4832

観覧無料